

名古屋市要介護度等改善事例公表事業

改善・向上したこと

体調管理が自己にて行えるようになり、ヘルパー同伴の元でコンビニへ買い物に行けるようになった。

事業所	サービス種別	通所リハビリテーション
	事業所名	医療法人杉山会 デイケア・セエダ
	所在地	名古屋市名東区社台3丁目19番地1
利用者	65歳未満 ・ 65～70歳 ・ 70歳代 ・ 80歳代 ・ 90歳～	

取り組み

課題（取り組み前の時点）	入退院を繰り返しており廃用による体力の低下も認められる。集合住宅にて一人暮らし		
本人の意向	長い距離を歩きたい。日課だった散歩を再開したい。		
長期目標	外出して近くのコンビニに行く。	取組期間	1年3カ月
短期目標	集合住宅周囲の散歩の再開	取組期間	1年
関連する加算の算定状況			

具体的な取り組み事例（期間、頻度、内容、主に担当した職種など）

通所リハビリテーション(6～7時間)にて理学療法士・作業療法士による個別リハビリを20分間週2回実施しました。

個別リハビリの内容として、まずは下肢筋力強化訓練・バランス訓練・歩行訓練等を実施していきましたが栄養状態悪く、廃用の改善は認められず、水分摂取も不十分となる事で外来受診での点滴や入退院を繰り返す事が継続して認められていました。

この為、個別リハビリ時の下肢筋力強化訓練をマシーントレーニングでの強化に変更し、歩行器を使用して近くのコンビニエンスストアまで買い物訓練を行い、自分で食べたい物（保存できるもの）を購入するを行っていききました。これにより、食指の向上が認められ体重の上昇も認められ始めました。徐々に体力面の上昇が認められ、休憩せずにコンビニエンスストアまでの移動が可能となりました。しかし、脱水傾向は継続して認められていた為、ドラッグストアへの買い物訓練（50m程コンビニより遠い）へ移行し、食べ物と経口補水液の購入を行うと受診して点滴を行うことが減少し、定期的に通所リハビリテーションへ通える体力が得られてきました。これにより、集合住宅周囲の散歩が再開できています。買い物訓練を継続しつつ、歩行器歩行の距離を延長していく事で歩行器を使用してヘルパー同伴元、コンビニエンスストアまで移動し買い物することができるようになりました。

結果（達成したこと、達成時期）
達成した事 ・ヘルパー同伴元でコンビニエンスストアまで行き、好きな買い物ができるようになった。 ・食指・意欲の向上が認められ、食べたい物などが増えていった。 ・体調面の改善が認められ、受診や入院により休まれる事が亡くなり定期的に通所リハビリテーションに通えるようになった。 達成時期 栄養面の改善に時間を要し、目的とする動作の達成まで1年3カ月を要す。
達成後の課題・目標
栄養面とBMI等も増加傾向にあるも適正値には達していない為、引き続き体調面の変化に注意が必要となっています。

※ 個人情報の取り扱いにご注意ください。